



千寿常東小だより

令和5年9月1日
足立区立千寿常東小学校
学校通信 9月号

自己表現と思いやり

校長 佐々木浩志

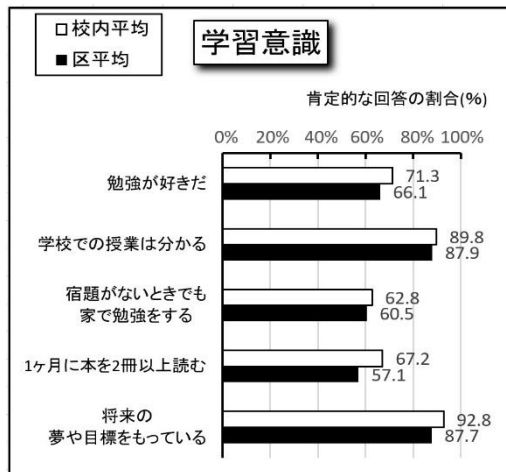
昼間の暑さに厳しさが残っていますが、朝夕には吹く風に秋の気配が感じられるようになりました。聞こえてくる鳴き声も秋の虫へとかわりつつあります。前期後半が始まりました。新たな出発です。猛暑のなか、用務主事がピカピカに磨き上げた校舎で、元気な子供たちを迎えることができました。

夏休み当初、子供たちは学習教室等に熱くしっかり通いました。8月3日までの10日間で延べ3369名の子供たちが学校に来て、勉強したり、水泳をしたり、ドレミファ金管バンドの練習をしたりと、友達とかかわり合い、刺激し合って夏休みをスタートすることができました。休み明けの子供たちは、この夏休みに鍛えたことやいろいろな体験をいっぱい抱え、それをこれからの生活に生かそうと張り切っている様子です。

自己表現力を育てることが教育のテーマになっています。社会では協働して成し遂げる場面がたくさんあり、協働するためには自分の思いを正しく伝える必要があるからです。日本文化には、自分の気持ちの発散よりも、相手の気持ちへの配慮を優先する「抑制の美学」があるため、自己表現が上手にできないと言われるかもしれません。利己的な主張ではなく、相手が何を望んでいるか、どう感じているかということに配慮しつつ、自己表現できる力を育てていきたいと思えます。相手の気持ちに伝えたいという気持ち、つまり自分自身の満足だけを追求せずに、相手を満足させてあげたいと思う気持ちをもった自己表現をめざしたいと思えます。

夏季教室 参加人数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	なかよし	延べ人数
学習教室	409	352	315	260	334	278	15	1963名
水泳教室	199	176	221	221	208	178	5	1208名
実施回数	4日	4日	6日	6日	6日	6日	3日	
1回平均人数	49.8	44.0	36.8	36.8	34.7	29.7	1.7	
ドレミファ金管バンド				46	97	55		198名

区学力定着に関する総合調査(4月実施) 結果(学習意識&学習定着度) 報告



【学習意識】 千寿常東小学校は、子供たちの自己肯定感を高めることを大切にしています。子供たちが新しいことにチャレンジしながら毎日の生活を大切にして意欲的に過ごしている様子が学習意識調査に表れています。

学習意識 経年の様子	3年度	4年度	5年度
勉強が好きだ	74.5	70.0	71.3
	67.9	67.2	66.1
学校での授業は分かる	89.8	87.6	89.8
	88.2	87.7	87.9
宿題がないときでも家で勉強をする	73.1	67.2	62.8
	64.5	62.3	60.5
1ヶ月に本を2冊以上読む	70.0	67.3	67.2
	60.9	59.5	57.1
将来の夢や目標をもっている	90.9	90.1	92.8
	86.0	86.7	87.7

上段:校内平均 下段:区平均

【学習定着度】 学校全体は目安としている通過率80%に達しています。これからも、一人一人の個性や習熟度に合った取組を進めます。自己肯定感や自己表現力を伸ばす取組を大切にすることで、勉強することが楽しいと言える子、宿題がなくても自ら学ぶことを楽しめる子、将来の可能性を広げることにつながる基礎的・基本的な学力を身に付けている子へと力を伸ばし、成長できるように取り組んでまいります。

学校全体	国語	算数	◎目標値:本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
通過率(令和5年)	86.0%	84.6%	◎通過率:目標値以上の正答があった児童の割合 [目標値以上の児童数÷受検者数×100(%)]
通過率(令和4年)	83.9%	83.7%	◎平均正答率:受検した児童の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)])の平均値
平均正答率(令和5年)	80.5%	77.7%	
平均正答率(令和4年)	75.1%	77.3%	

長い、長い、休みである夏休み明けは、朝 起きることや、学校に向かうことが辛い場合があります。何か不安がありますので、まずは受けとめてあげましょう。そして不安を取り除けるように一緒に考えてあげてください。少し早く寝て、早起きをすることで、朝の時間に余裕をもたせることも ひとつの方法です。